

2020年(令和2年)

8月号

No-2020-03
2020.08.31発行

広
報

Japan Practical Nurse Council

一般社団法人日本准看護師連絡協議会

准看協 News

第11回 みんなで考えよう准看護師制度
今回のテーマ「いきいきと働く准看護師」

▼2人の新人准看護師に聞きました「資格取得までの苦悩と今後の展望」

私が一番大変だと思った事は、仕事・育児・家事・勉強の両立であり、どれも手を抜く事は出来ませんでした。子供は受験生だったので、一緒に夜中まで勉強をし励まし合ったりしました。私が務めている病院では、同じように育児をしていたり、同じ看護学校に通っていた先輩方に相談する事が出来たので、不安を乗り越える事が出来ました。辛い事もありましたが、病院で働きながら看護学校へ2年間通い、夢であった准看護資格が取得できたのも先生・先輩方・家族のお陰だと感謝しています。

4月から、准看護師として働いています。先輩がして下さいのように、悩んでいる時は寄り添った看護が行えるよう、今後も学び続け患者さんのために頑張りたいと思います。

渡家薫子さん(平川病院勤務・准看護師)

私が、一番大変だったことは時間の使い方でした。授業は午後が多いため、午前中は仕事をし、学校の無い日は1日仕事をする生活だったので、思うように勉強をする時間が取れないこともありました。しかし、勤務先や家族の理解と協力のお陰で准看護師試験に合格することができ、改めて自分一人の力では決して成し得なかったと痛感しています。医療現場では、患者さんとの信頼関係が大切であると感じています。お互いの信頼関係がないと、患者さんの小さな変化や言葉にならない不安や不満に気づくことができないうと、普段の勤務や臨床実習を通して強く感じたからです。

将来は、患者さんとしっかりとした信頼関係を築ける看護師を目指したいと思います。

中村和也さん(平川病院勤務・准看護師)

▼ベテラン准看護師に聞きました「ステップアップの理由と今後の展望」

准看護師になって15年、専門看護師や特定行為研修等を考えるようになり看護師を目指すことにしました。2年間の学生生活は久しぶりで、あつと言う間に過ぎ去り、働きながら学ぶ通信制は想像以上に過酷で自分との戦いでした。病院実習や学校での授業は休みを利用し、紙上演習の提出や学内テスト、国試対

策に追われる毎日で計画的に物事を進行していかないと時間は足りない。気付いたら20時間間休機に向かっていることもありました。看護師となった今、知識や技術のレベルアップのために日々努力を重ね、自分にできることを考えながら歩みを止めずステップアップをしていきたいと思っています。

稲葉 清さん(神奈川病院認知症治療病棟勤務・看護師)

▼准看護師に聞きました「お仕事の魅力とやりがい」

私が資格を取得したのは20年前になります。先日あるスタッフから「患者の害にならない看護師でいたい」という言葉を聞きました。なんとなくその言葉が引っ掛かり、看護とは何か考えていた時ナイチンゲールを思い出しました。看護覚え書きに書かれている看護師の基本的な姿勢が

妙に新鮮で、何かに迷った時にはヒントがもらえる書籍であることを改めて実感しました。1冊とは限らず何冊でも心の拠り所になる書籍を見つけておくことをお勧めしたいと思います。今後の皆様のご活躍を期待しております。

北條文夫さん(吉祥寺勤務・准看護師)